

9/22

未来へと続く 心のよりどころ

登別市民憲章制定50周年記念式典

9月22日(土)、制定から50周年という節目を迎えた『登別市民憲章』に込められた想いを多くの市民の皆さんと共に再認識し、より良いまちづくりを進めていくため、市民会館で『登別市民憲章制定50周年記念式典』（登別市・登別市民憲章推進協議会・登別市民憲章制定50周年記念事業実行委員会主催）を開催しました。

明るく住みよいまちを目指し、昭和43年9月20日に制定された登別町民憲章は、昭和45年の市制施行に伴い、登別市民憲章に改称され、今日に至るまで、日々の生活の心のよりどころになっています。

記念式典では、この50年の間、市民憲章の推進に貢献してきた登別市民憲章推進協議会と登別市連合町内会への感謝状贈呈、制定50周年を記念し、募集した市民憲章各章にまつわる『フォト&メッセージ』コンテストの優秀賞受賞者などへの表彰、登別市史編さん委員会委員長などを務める街道重昭さんによる記念講演などが行われ、約400人の参加者は、市民憲章の大切さを改めて感じていました。



▲これからも市民憲章の推進に励んでいくことを声高らかに宣誓した登別市民憲章推進協議会・中原義勝事務局長



▲式典では、三つの中学校（登別中学校、幌別中学校、緑陽中学校）の吹奏楽部による合同演奏が行われ、参加者を魅了



▲懸命にジャンプし、ボールを投げる参加者

スポーツで健康増進

登別市民憲章制定50周年記念 市民スポーツ・健康フェスティバル

9月22日(土)、岡志別の森運動公園と市民プールらくああの2会場で、『市民スポーツ・健康フェスティバル』（市教育委員会、登別市文化・スポーツ振興財団、北海道曹達(株)主催）を開催しました。

この日無料開放された市民プールらくあでは、個人水泳タイム計測や泳げない子を対象とした水泳教室などが行われ、『水中玉入れ競争』では、参加者が大きな水しぶきを上げながら、色とりどりのボールを籠に投げ入れ、熱戦を繰り広げました。

9/22

秋の夜長に文化を親しむ

のぼりべつカルチャーナイト2018

9月28日(金)、市内の16施設で『のぼりべつカルチャーナイト2018』（同実行委員会主催）が行われました。

カルチャーナイトとは、市内の公共施設や民間施設などを夜間開放して催しを行い、地域の文化をいつもと違った雰囲気楽しんでもらう地域文化活動です。

第7回目となる今年は、ギャラリーHANNA（富士町）やのぼりん（緑町）を会場にライブなどが行われたほか、登別商工会議所では『ご当地カードゲーム』、登別市消防署では『救急車の試乗体験』を行うなど、子どもも大人も楽しい特別な日となりました。

9/28



▲サイコロやカードを使って遊ぶ『ご当地カードゲーム』